

## 海外派遣研究者 2009 年度（シニア研究者）募集要項

海外派遣研究者 2009 年度（シニア研究者）募集要項は次のとおりとする。

### 1. 助成対象

海外の研究機関において研究又は研究支援活動を行う研究者で、次の事項に該当するものに必要な経費を助成する。

#### (1) 助成対象者

広い意味の原子物理学及びその応用に関連する分野のシニアな研究者（常勤的職についていない者を含む）。

#### (2) 目的

- ①これまでの研究を更に深める、或いは新たに斬新なテーマで研究を始める。
- ②途上国の研究機関等において行う研究支援活動。

### 2. 派遣期間

派遣期間は、2 ヶ月以上 6 ヶ月以内とし、遅くとも 2010 年 2 月末日までに渡航することとする。

### 3. 研究助成金の支給

派遣研究者には、渡航費及び滞在費を助成する。

渡航費は、最も経済的なルート・等級の往復航空運賃の実費を、領収書にて確認の上、支給する。

滞在費は、月額 24 万円を支給する。

### 4. 応募書類の提出

応募者は、次の書類を E-mail 又は郵送（E-mail が望ましい）にて本財団宛に提出（郵送の場合は 1 部）すること。書類の形式は電子ファイル（Microsoft Office Word（拡張子.doc）又は pdf ファイル）が望ましい（なお、論文など pdf ファイル化が難しい場合には印刷物のコピーも可（1 部））。

E-mail アドレスは [nishina-koubo@nishina-mf.or.jp](mailto:nishina-koubo@nishina-mf.or.jp) である。

#### (1) 海外派遣研究者応募票（A4 判、様式は自由、本財団ホームページからのダウンロードも可能）

応募票には次の事項を記載すること。

- 応募者の氏名（ふりがな・英文表記を付する）・生年月日・住所・海外派遣期間中の国内連絡先
- 所属機関・職・連絡先（勤務先電話・E-mail アドレス等）
- 現在の主な研究題目及びその内容
- 海外での研究（支援）目的及び具体的な研究（支援）計画
- 派遣を希望する研究機関（英文表記を付する）、それを選んだ理由、及び滞在時期
- 健康状態
- 在外研究歴（研究機関・滞在期間）
- 他の団体・機関のフェローシップ等への応募状況
- 下記（6）の応募者に関する意見書を作成していただく 2 名の方の氏名・所属・職・連絡先

(2) 履歴書

研究歴は詳しく記載すること。

(3) 参考となる論文のリスト及び主な研究業績の論文 (2 編程度)

(4) 派遣希望先との往復書簡 (E-mail アドレスを含む)

(5) 所属機関の責任者のこの応募に関する承諾書

(研究機関に所属しない研究者については不要)

(6) 応募者に関する意見書 (A4 判、様式は自由、本財団ホームページからのダウンロードも可能)

応募者は、同じ分野の研究者 1~2 名の方に、応募者に関する意見書を作成の上、応募書類の受付期限までに、作成者から本財団宛に直接に送付するよう依頼すること。

意見書には次の事項を記載すること。

○応募者の氏名

○派遣を希望する研究機関

○意見書作成者と応募者との関係

○応募者の研究能力

○応募者が特に優れている点及び劣ると思われる点

○これまでの主な研究テーマと成果

○派遣先研究機関における研究 (支援) 成果の見込み

○研究 (支援) 遂行に必要な語学力

○健康状態

○その他選考に際して参考となる意見

5. 応募書類の受付期限

2009 年 9 月 15 日 (火) とする。

6. 選考結果の通知

選考結果は 10 月中旬までに通知する。

7. 郵送の場合の書類送付先

財団法人仁科記念財団

〒113-8941 東京都文京区本駒込 2-28-45

Tel 03-3942-1718 Fax 03-5976-2473

ホームページ <http://www.nishina-mf.or.jp>

封筒には「海外派遣研究者応募票在中」と朱書すること

8. 留意事項

他の団体、機関のフェローシップとの二重取得は認められない。

なお、派遣期間中に研究機関に就職をする場合など、身分や条件に変更が生じた場合には、支給経費の一部返還を求めることがある。

## 海外派遣研究者 2009 年度（シニア研究者）応募票（1/2）

---

（ふりがな）

（英文表記）

氏 名

---

生年月日

---

現住所（電話、E-mail アドレスなど）

---

海外派遣期間中の国内連絡先

---

所属機関（名称・所在地）・職・連絡先（電話・Fax など）

---

研究題目

---

派遣を希望する研究機関（英文表記を付する）及びそれを選んだ理由

---

滞在時期

---

海外での研究（支援）目的及び具体的な研究（支援）計画

---

## 海外派遣研究者 2009 年度（シニア研究者）応募票（2/2）

現在の主な研究題目及びその内容（英文の場合は印刷体で記入のこと）

---

健康状態

- a 良好                      b 既往歴あるも現在は健康                      c 健康にやや不安がある
- 

在外研究歴

- a あり（研究機関、滞在期間）

- b なし
- 

他の団体・機関のフェローシップ等への応募状況

- a あり（具体的に記載のこと）

- b なし
- 

選考のための参考資料とする意見書の作成に対応していただける方 1～2 名

- a. 同じ分野の研究者 1～2 名の方の氏名、所属、職、連絡先を記入すること。  
b. 意見書は、2009 年 9 月 15 日（火）までに、作成者から本財団あてに直接送付するよう依頼すること。

## 海外派遣研究者 2009 年度（シニア研究者）意見書 (1/2)

（意見書作成者へのお願い） 恐縮ですが、すべての項目についてご記入の上、厳封をしていただき、2009年9月15日(火)までに、本財団宛にご送付くださるようお願いいたします。

なお、この意見書は応募者を含め選考委員以外の者に閲覧させることはなく、選考委員会終了後、速やかに処分いたしますので、忌憚のないご意見をお聞かせくださるようお願いいたします。

送付先：財団法人仁科記念財団

〒113-8941 東京都文京区本駒込 2-28-45 Tel. 03-3942-1718

1. 応募者の氏名
2. 派遣を希望する研究機関
3. 意見書作成者と応募者との関係
4. 応募者の研究能力  
a 特に優れている      b 優れている      c 普通
5. 応募者が特に優れている点及び劣ると思われる点

海外派遣研究者 2009 年度（シニア研究者）意見書 (2/2)

6. これまでの主な研究テーマとその成果

---

7. 派遣先研究機関における研究（支援）成果の見込み

---

8. 研究遂行に必要な語学力

a 十分    b 概ね支障なし    c 少し準備が要る

9. 健康状態

a 良好    b 既往歴があるも現在は健康    c 健康にやや不安がある

10. その他、選考に際して参考となる意見

---

2009 年    月    日

意見書作成者    ご署名    印